

しずく 議会だより

No.99

2016. 10

編集 議会広報編集特別委員会

●今号の主な内容

9月定例会のあらまし

またまた1票差可決、

28年度一般会計補正予算…2

町政を問う

一般質問 9議員が質問…9

常任委員会報告…19

ふるさとへの便り(65)…23

●今号の表紙/まちの笑顔シリーズ

練武会……24

また
また

1票差可決、

14ヘクタール町有地への道路工事

今暮らしている町民の要望を聞いて

問 〈岩持議員〉社会資本整備事業交付金は雫石町に対する交付金であって、14ヘクタール（以下、14haと略す。）事業への交付金ではない。町民から約80にも及ぶ道路改良の要望を差し置いての14haの道路整備は、要望をないがしろにしたことにならないか。

答 14haへの道路以外にも2路線は継続して進めているので、全て14haにということではない。

順序が逆では、判断材料を示せ

問 〈山崎（留）議員〉5、8、9月にインフラ整備事業が示されたが、結局変更の変更の変更が相次いでいる。また、大規模開発行為の行方とその予算もどうなるかわからない。丁寧に町民のニーズと意見を聞いて進めるべきでは。

答 開発行為の申請は、まちづくり会社が責任を持って進めている。それに基づいて、並行して、今回補正予算で1工区の道路を計上している。

問 〈川口議員〉9月23日に計画書ができるなら、なぜインフラ整備を急ぐのか。順序が逆ではないか。計画全容が説明でき、移住が何人、採算性、まちづくり会社構成業者の分担など議会に判断材料を示すべき。町民も我々も疑問を感じている。

答 29年度の事業として実施したい。今事業計画をまとめ上げているので、それに合わせるためには、今年度に1工区の道路をつくらないと、事業自体が間に合わない。工事用道路としても使いたい。

問 〈大村、西田議員〉小岩井農牧（株）は、自分の土地をバイパス道路として、一般車両が自由に通行することを認めるのか。とりあえず覚書を取り交わし、その後に契約書をとということだが、その案を示してもらわねば、この道路の妥当性が判断できない。

答 国家プロジェクトであれば小岩井農牧（株）は協力するという話をもらい、バイパス道路も必要ではとの提案もあった。こういう経緯が、今回のバイパス整備の計画につながっている。

「100年の森」の風景はどこに

問 〈大村議員〉「100年の森」と喧伝しているが、その風景はどこにもない。隣接する50ヘクタール規模の太陽光パネルは、無機質で異様な光景である。このようなところで1日24時間生活すれば、逃げ出すのではと懸念される。インフラ整備もされ、今すぐにでも着工できるコテージ村の方が良いのでは。

答 24年度からまちづくりプロジェクトを大学と共同研究してきた中で、7つのモデルの一つとして、現在の活用計画が出ているもので道路と並行して進める。10月中には議会に実施計画として説明できる。

一般会計補正予算

費等を議論、8対7で可決

討論要旨

賛成

村田議員

本町では国の地方創生、人口減少対策、施策の取り組みである生涯活躍のまち構想に取り組んでいる。みんなで理解をし、進めなければならない事業と考えている。

石亀議員

町遊休地の活用による、新しい雇用の場をつくり、町民所得の向上と事業に取り組むことによって、税収も向上し、将来の自主財源の確保ができる。

杉澤議員

町道丸谷地4号線の整備は、これまでの議決を踏まえ、継続して進める必要がある。14haの活用計画では、29年度から介護型高齢者住宅などの施設整備をする計画である。この前にインフラ整備がされていなければならない。

上野議員

本町の将来に極めて重要な補正予算である。14haの町有地を活用して、少子高齢化、人口減少の社会で子育てや医療、介護など重石らしい施設をやるこの事業の成功は共通の願いであるはず。

反対

岩持議員

町有地14ha開発の全体像、施設の配置図、予算の計画と裏づけ、インフラ整備の総額等を明示すべき。

大村議員

5年間の長い年月と、27年度の約6,000万円の随意契約による業務の委託を始め、膨大な予算と町職員集団を投入したが、今もって基本計画も実施計画も示すことができてない。

加藤議員

中心市街地から離れた山のほうに障害者やお年寄りの施設をつくるという発想は、何十年も昔の発想で、現代では町の中心に配置することがまさに優しい福祉対策ではないのか。

山崎（留）議員

町道新設工事等の費用は、今回の補正のみではなく、2工区、3工区がまだ白紙だ。まずは、今住んでいる住民に説明する責任が町にある。

27年度決算104億7,850万円、

〈主な質疑応答〉

括

【杉澤委員】町税全体で前年度対比 6,000 万円ほど減額しており、年々低下傾向にあるが町はどのように分析し捉えているのか。

答

税目別で個人町民税の中で給与所得は若干伸びが見られる。法人町民税については事業の業績は数年来良好に推移しているが、法人税割の税率が下がっている。平成 31 年 10 月からさらに下がる予定で業績の伸びはあるが税額としては下がる傾向にある。今後、全体としては税収の大きな伸びは余り見込めないと考えている。

括

【上野委員】原子力発電所事故損害賠償金 635 万 6,501 円の内容は。

答

損害賠償金のうち、609 万 6,501 円は 23 年度の事故後、風評被害による入湯税の減額に対して補償金として支払われたものである。残りの 26 万円は和解金として支払われたものである。

総

【横手委員】ふるさと納税の寄付金額と寄付者の延べ人数は。

答

27 年度 9 月より見直しを行い、寄付金額は 7,980 万 502 円で人数は 6,140 人である。返礼品で一番多いのが栗石牛で全体の 44%、次いでお米の 37% となっている。



魅力的なふるさと納税返礼品

総

【石亀委員】職員互助会事業費補助金は今後も予算措置されるのか。

答

今後は互助会事務局と検討し、来年度以降はなくすよう進めていく。

衛

【堂前委員】特定外来植物のオオハンゴンソウの駆除方法等について広報に掲載されているが、草刈り時に黄色の綺麗な花だからと残している方もいる。繁殖力がすごい状況と膨大な面積に及ぶ駆除活動をどう行っていくか。

答

駆除の研修会など開催してもらったが、地域での団体作業が一番良いと考えている。駆除方法に予算等も関係してくるが、環境基本計画にも盛り込んでいるので、駆除された方たちからも情報を得ながら有効な駆除方法等周知していきたい。



社会問題化しているオオハンゴンソウ

衛

【杉澤委員】不法投棄防止事業をパトロール監視員で行っているが、捨てていく場所は大体が決まっており投棄量は減っていないのではないか。観光の町であり、実施状況と具体的対策は。

答

監視員 2 名で、週 1 回監視活動をしている。パトロール中に不法投棄物、冷蔵庫、テレビ等があった場合は回収もしているが、引っ越しシーズンになる春先は投棄が多いのでパトロールを強化することも考えている。



パトロールを強化している不法投棄防止事業

10件 全て認定される

民 【山崎(留)委員】低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業委託が厚労省の3年間モデル事業としてあったが、来年からセーフハウスという名称に変わると聞いた。事業の検証を踏まえ、国との今後の話し合いはどうなっているか。

答 空き家や貸家を活用し、現在は4世帯5名の方が利用しており、介護保険事業の一つとして成果を出してきた。今後は、生涯活躍のまちづくり構想事業の一つとしてセーフハウスということで検討していく方向であるが、国の状況等見ながら進めていきたい。

民 【山崎(留)委員】これまでは厚労省からのバックアップで行っているが、今後は違う省からの交付があるのか、町単独の出費となるのか。

答 今年度までは特定財源と補助があるが、モデル事業が終了する来年度以降も必要な事業と考えている。養護老人ホームは措置費として一人当たり毎月15～20万円で年間200万ほどかかる。現在のモデル事業では1人あたり約100万円で貸家を利用でき、町内にもお金が回るということで予算面からも有用な事業と考えており検討している。

民 【川口委員】大村と橋場地区のへき地保育所は今後も存続するということだが、維持費等環境の変化も出てくるなか、存続の対策を教育委員会などと話し合っているか。

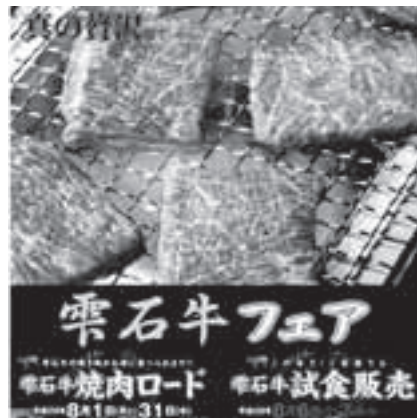
答 大村地区で述べると、小学校と合同でやっている運動会とか交通安全の取り組みは課題になってくると思われるが、保育所も含め放課後児童クラブをどうするか、部会などを設置し検討していく等、教育委員会と話し合っている。

労 【杉澤委員】勤労青少年ホームの利用状況、人数、主な利用者は。

答 26年度は、710件、延べ6,245人。27年度は、694件、延べ5,042人と減少傾向にある。利用では、雫石中学校の部活動、スポーツ活動、スポーツ団体等の利用が主である。

農 【横手委員】雫石牛フェア事業費補助金について、8月だけでなく開催できないか。

答 冬の時期に向けて、すき焼きとかしゃぶしゃぶとかの冬バージョンのフェアを検討して実施に向けて取り組んでいる。



3年目も好評な雫石牛フェア

農 【村田委員】新規就農総合支援事業補助金について、適用条件が厳しいが、新規就農に係る補助金や奨励金等なるべく多く受けられるようにできないか。

答 個々の状況に応じて、国の給付金や町の奨励金・制度資金等を紹介しながら、いろんな部分で相談に乗り対応していく。

農 【杉澤委員】有害鳥獣対策事業について、イノシシ対策は現状以上に有効な対策を検討していないのか。

答 今後の状況を見て、さまざま情報収集をしながら対策を検討していく。被害者だけでなく地域も含めて協力を得て防御対策を周知しながら取り組んでいく。



イノシシに荒らされた田んぼ

商

【大村委員】観光費について、八幡平市が50キロメートルトレイルの新しい登山コースを整備した。当町の山岳観光開発はどう進めているのか。

答

丸森山から千沼ヶ原ルートについては現地確認を終えている。環境省等との協議が必要であると考えている。新しいコースの必要性も含め、研究・検討していく。

商

【石亀委員】銀河ステーションの指定管理について、7期連続赤字の第三セクター(株)しずくいしが指定管理者でいいのか。

答

特段支障が無いものと考えている。(株)しずくいしが運営している道の駅は、東北6県の中でも人気ランキングベストスリーに入っている。大変厳しい状況であるが、経営努力をされているので少しずつ改善されるものと思っている。

土

【石亀委員】除雪体制のシステムとして、GPSを導入し、労働時間、コース、位置情報の確認などに対応する考えはないか。

答

除雪管理システムは、非常に効率的な業務ができると考えている。今後、導入していきたいので開発業者の聞き取りや、他自治体の例を聞きながら進めたい。

土

【大村委員】下町の県道と田沢湖線との交差する陸橋は、何回も事故が起きている。特に冬期間は危ないが改善の見通しは。

答

県に要望は伝えているが、事業化は難しいという答えだ。毎年、防災課と一緒に、通学路の安全確保の毎年点検もしているので、引き続き要望していく。

災

【杉澤委員】8.9豪雨災害復旧事業の27年度分の決算額は、7億2,318万4,558円となっており、25年度分、26年度分と合わせると、38億6,814万6,249円となっている。このうち、当町の一般財源支出額は、4億2,027万8,734円であり、地方債充当額は9億8,110万円となっている。こうした災害復旧事業が当町の財政に与えた影響をどう捉えているか。

答

総額約38億円と大きな事業費になったが、大部分は国・県補助金で手厚く補助された。起債に対しても交付税措置がされる。27年度決算に基づく財政の健全化判断比率は、健全に推移しており、今後、災害復旧事業債の償還は出てくるが、交付税措置もあることから、大きく財政悪化したということにはなっていない。



8.9 大地沢林道災害現場

教

【加藤委員】27年度の町体育協会への指定管理料は約7千万円と膨大であった。その中のクロスカントリースキー場収支計算書の人件費の実績はゼロだが、どこへ行ったのか。

答

クロスカントリースキー場は管理業務を行わなかったのではなく、9人の正職員によるシフト制を組み施設の管理運営を行った。

教

【大村委員】27年度関連で、クロスカントリースキー場の26年度人件費は、人を雇っての人件費ではなく町体育協会職員に賞与として配分したという。貯金とか、賞与とかいう査定はないはずだ。決算については担当課が予算、決算、証拠書類でしっかり精査すべきで、契約書上問題ないからよいということにはならないのでは。

答

指定管理で過大な剰余金等が出た場合は、協議した上で返還も検討していきたい。



指定管理料の適正化を

教

【上野委員】御所地区小学校統合は、いつ、どのような形で決まるのか。

答

小学校ごとに選出された統合準備委員会委員で構成された、設立準備委員会等の討議を踏まえ時期の決定がなされるものである。

教

【上野委員】廃校後の校舎の活用、大村・南畑地区等、地域と学区の再生の議論になって、それを抜きにして前に進めるかどうか、町長部局との整合性も取れているのか。また、日程的に大丈夫か。

答

総合教育会議の中で、さまざま協議しなければならない。町教委としては、25年度策定した基本計画により、使用しなくなった学校施設の有効利用を、町教委、地域等の意見を聞き、他の自治体の例も参考にしながらスピードを上げて進めていきたい。



今後の校舎の利活用が重要課題となる

教

【山崎(留)委員】家庭の事情で進学できない、低所得や非課税、一人親世帯などの学習意欲のある子どもたちに、給付型の奨学金制度の枠を検討する考えはあるか。

答

無利子奨学金の枠の拡大や給付型については、町民や団体からの要望・要請はある。財源が伴うことや、世帯間の不公平等考慮し、課題解決が見込まれる段階で具体的に検討したい。

教

【石亀委員】町の指定管理について、3月定例会で、精査、監督する部門を設けてはどうかと提言したが、その後どうなっているか。

答

担当課、企画監等を集め、その体制・協約等々の内容について十分対応できるよう検討していきたい。

討 論

平成27年度決算決議に対する討論（要旨）

平成27年度の一般会計、特別会計および企業会計決算を認定することに対する討論が行われました。その要旨を紹介します。

**反対**

西田征洋議員

計画的に年度末地方債の償還を大きく図って、借金を減らしていくことが求められる。近年地方債の償還幅が大変小さくなってきていて、年によってはむしろ借金の積み増しが生じている。財政の健全化を取り戻すことを求め、一般会計と特別会計の一部に反対する。

**反対**

大村昭東議員

当局に請求した資料を議会に提出できない、しないということは、二元代表制を否定するものである。地方分権化により議会の監視機能を強化しなければならないときに、チェック機能を否定するような当局のもとでつくられた一般会計決算は認めることができない。

**反対**

川口一男議員

27年度決算の費用対効果や反省等を踏まえて、今年度の予算が執行されるべきであるが、特に栗石体育協会、栗石観光協会の委託料や補助金については、納得のいく説明がされなかったことから一般会計認定に反対する。

平成 28 年第 5 回雫石町議会 9 月定例会 議決結果等一覧

会期：9 月 2 日(金)～9 月 20 日(火)

議案等 番号	議員名 件名																採決結果
		堂前義信	横手寿明	山崎芳邦	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀貢	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	加藤真純	
承認第1号	雫石町ひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
同意第1号	教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第1号	雫石町民生連絡員、児童連絡員設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	雫石町水道事業、公共下水道事業及び農業集落排水事業の設置等に関する条例の一部改正について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	可決
議案第3号	平成28年度雫石町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	●	○	●	●	可決
議案第4号	平成28年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	平成28年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	平成28年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	平成28年度雫石町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	●	○	●	●	可決
議案第8号	平成28年度雫石町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	●	○	●	●	可決
認定第1号	平成27年度雫石町一般会計歳入歳出決算	○	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	●	○	○	●	認定
認定第2号	平成27年度雫石町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第3号	平成27年度雫石町御明神財産区特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	認定
認定第4号	平成27年度雫石町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第5号	平成27年度雫石町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第6号	平成27年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第7号	平成27年度雫石町立雫石診療所特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第8号	平成27年度雫石町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	認定
認定第9号	平成27年度雫石町水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第10号	平成27年度雫石町下水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
発議第1号	義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、平成29年度政府予算に係る意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第2号	教職員定数改善をはかるための、平成29年度政府予算に係る意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第3号	私学教育の充実、発展を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対 ※前田議長は採決には加わりません。

9月定例会

一般質問 町政を問う 9議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

質問者	質問内容	掲載頁
 いしがめ みつぎ 石亀 貢議員	空家・廃屋対策は	10
 すぎさわ としあき 杉澤敏明議員	障がい福祉施策の現状は	11
 かわぐちかず お 川口一男議員	町有地 14 ヘクタール 取得目的の施策はいかに	12
 おおむらしょうとう 大村昭 東議員	地域通貨の発行は どうなったか	13
 にし だ まさひろ 西田征洋議員	控訴審、 勝っても負けてもお金がかかる	14
 いわもちきよ み 岩持清美議員	雫石新十四景の周知案内は	15
 うわ の み よ じ 上野三四二議員	ダム汚染心配、 下水道工事促進を	16
 やまざき る み こ 山崎留美子議員	随意契約に問題ないか	17
 どうぜんよしのぶ 堂前義信議員	町観光交流活性化行動計画の 取り組みは	18

空家・廃屋対策は

町長／空家等対策計画策定と条例・要綱を制定



空家対策は
国や町にとつて
喫緊の課題。
先送りせず
早期対処を。

問 空家は全国的な問題で、国も平成 26 年「空家対策等の推進に関する特別措置法」を制定、その対策ができるようになった。空家等対策の推進に関する特別措置法をどう評価し、条例や要綱の必要性をどう考えるか。

町長 実態調査で 192 件を空家と判定、今後も発生が予想される、空家に対する施策を講じる上で、特別措置法の施行は、大変に意義があると評価している。

空家等対策計画は、特定空家等に対する措置のみならず、利活用可能な空家に関する方針を含め、施策を実施する上で必要な事項を定め、本町の実情に即して策定したい。

問 県空家等対策連絡会議が平成 28 年 8 月 29 日に発足しているが、本町協議会設立しては。

地域整備課長 空家対策を進める上で、協議会設立は大変重要と認識している。設立する方向で進めたい。

問 相談窓口の開設は必要ではないか。

地域整備課長 実態調査の結果を踏まえて、当事者の方も情報とか知りたい部分が多くなってくると考えるので、設置しなければと思っている。

水道事業の改善・改革について

問 近年の水道事業を取り巻く環境は、少子高齢化社会に伴う人口減少、節水型社会の到来など変化している。信頼される水道を継続するために、老朽化した施設、水道管更新が必要ではないかと考えるがどうか。

町長 水道使用料の減少を見越し、水道ビジョンに基づいた、更新等の事業の年次計画、財政計画を策定、今後 50 年間の水道施設のアセットマネジメント※の作成に取り組んでいる。



水道管の更新工事等を計画的に

※アセットマネジメント…多様化するニーズに的確に応えるため限られた財源等の資源を有効に活用しながら、適切な公共サービスを提供していくための仕組み

障がい福祉施策の現状は 町長／延べ287名が障がい福祉サービスを利用

問 障がい者やその介護者が高齢化している。地域での生活を支援するサービスの現状は、どうなっているのか。

町長 27年度末の障がい福祉サービスの利用者数は、在宅における介護・家事をする居宅介護や、働くことを希望する障がい者を支援する就労継続支援などの自立支援給付事業を受けている人が128名であり、町が事業主体となり障がい者の生活・就労などの日常の相談を受ける相談事業や、日常生活用具の給付、日中活動支援などの地域生活支援事業の給付を受けている人が159名となっている。

問 共同生活援助（グループホーム）のニーズと対応状況は、どうなっているのか。

町長 27年度末のグループホームの利用者は、16名となっている。現在、国の施策として、入院している障がい者が退院し、居住の場を地域に移し、生活をする地域移行を進めていることから、日中活動サービスを利用しながら自立した生活を送るため、障がい者支援施設への入所やグループホームへの入居を希望する者が多くある。今後、グループホームのニーズは高まるものと推測されるので、現在、町内で計画されているグループホーム設置については、こうした障がい者と家族の不安解消の手立てになると期待している。



障がい者に関する
制度の普及と
住民の理解を
更に進める必要がある。
障がい福祉施策の
更なる充実も必要だ。

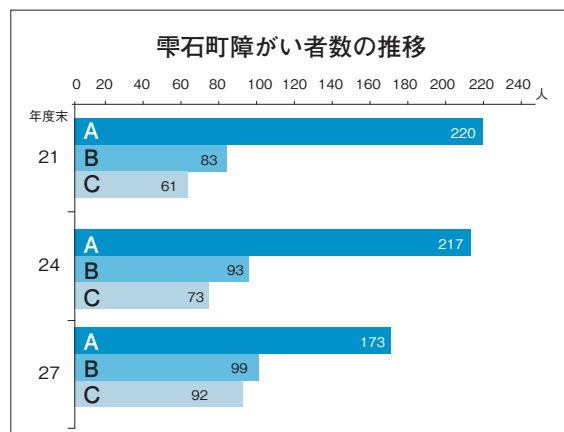
要支援者への訪問介護等の対応は

問 29年度以降、介護保険事業から町事業へ移行になる要支援の方の訪問介護、通所介護（デイサービス）の実施見通しはどうか。

長寿支援課長 町事業に移行してもサービスの不足が起らないようにする。サービス単価についても現行単価で実施していきたい。

他にこんな質問もしました

- ・豪雨災害復旧費の決算額および財政への影響はどれほどだったのか。



※ Aは身体障がい者数、Bは知的障がい者数、
Cは精神障がい者数である。
各障がい者数は、18歳以上64歳未満の者の
各年度末人数である。

町有地14ヘクタール取得目的の施策はいかに

町長／総合計画及び総合戦略で取り組む



雫石の農業、
このままだと
先がない。
危機感をもって
独自の施策を。

農業後継者育成及び研修等に活用する施策については、第二次雫石町総合計画および雫石町まち、ひと、しごと創生総合戦略に基づき取り組みたいと考えている。

問 議会に報告も少なく、小学校統合が進んでいる。私は統合推進賛成者であるが、マスコミ情報で知る事が多い。議会軽視ではないか。

学校教育課長 決して、軽視していない。今後は、報告を密にする。

問 農業後継者育成等に活用することで取得した14ヘクタールの土地を、まちづくり会社が老人施設等を造り、開発していくという方針で進行している。当初活用しようとした農業後継者育成等に代わる施策は、どうなったのか。

町長 町の計画として「農と担い手による町農業の持続可能性の確保」、「食と農の連携強化による地域の活性化」、「農と観光の連携強化による地域の活性化」を目標とし、実践研修のための農地及びPRの場として取得した。協議検討を重ねてきたが、計画を具体化するまでに至らなかった。

第二次雫石町総合計画に掲げる将来像の実現に向けた環境、教育、医療、福祉、産業分野等において、未利用地及び未活用資源等の活用を視野に入れた「モデルプロジェクト」を立ち上げ、これを重点的に取り組むとともに、その成果を町全体に波及させる必要があると考え、町有地14ヘクタールを含めた、生涯活躍のまち雫石版CCRC*事業の展開を行っている。



取得時とは大幅に計画変更した町有地

※CCRC…生涯活躍のまち構想（主に都市部の高齢者を地方移住促進する）

地域通貨の発行は怎么样了 町長／できるものから実施したい

問 滝沢市との協同事業の農業総合指導センター、地域通貨*の発行、コテージむら農場一画 10 ヘクタールにパークゴルフ場開設、上野沢牧野に接続する林道を活用した丸森山經由千沼ヶ原へのトレイル新コースの整備、北海道下川町手本の森林活用の発電、薬草薬木栽培の雇用促進、風力発電の政策提言はどうなっているか。

企画財政課長 鋭意努力している。できるものから実施したい。

問 農村社会づくりや農林業、商工業など議員の振興対策提言をどう実施するのか。

町長 今回の地方創生では、実施対象とまらない。

問 行政の公正、職員の高品質、発言責任、「まごころ」は自治体信頼の鍵、どう実現するか。

町長 信頼される行政であるよう努力する。

問 職員は法を生かすか死なすかの決定的役割がある。議員の指摘を生かしているか。

町長 さまざまな研修で実務能力の向上を図っている。

問 公務員倫理・道徳を含めたコンプライアンス規程、職員の行動原理は制定したか。

総務課長 現在、取り組んでいる。

問 公的部門の不具合撲滅のために、リスクアセスメントを実施しているか。

総務課長 取り組まなければと考えている。

問 町有地 14 ヘクタール活用プロジェクトの早稲田との共同研究、有効性効率性ゼロ、5年間の時間と投入予算と従事職員の無駄、どうするか。

総務課長 その都度、皆様に説明している。

問 セツ森保育所の不具合改修工事など、是正すべきは是正し、改善すべきは改善し、そのてん末を議会に報告すべきだ。

総務課長 できる部分について報告したい。



栗石町政は、
どうなっている。
クロカンスキー場、
自浄能力もなし。
議会を真面向否定する
とは何事か？



トレイル新コースの整備を検討してほしい千沼ヶ原

*地域通貨…限られた特定の地域内や特定の人の間だけで利用できる通貨

控訴審、勝っても負けてもお金がかかる

町長／一審判決に事実誤認があり控訴した



介護保険は、
さらなる負担増が
狙われています。
御用心、御用心!!

意見 この控訴審では、住民生活と関係ないところで裁判費用として町のお金が使われる。勝てば成功報酬で弁護士への支払いが増し、負けて最高裁に上告となればいま以上に大きくお金がかかる仕組みで、どっちにしても大金が使われる。

介護保険、利用者の負担増にどう対応

町長 サービス利用できない状況にならないよう要望等もしていく。

問 介護保険制度で、補足給付が切られる世帯が出たり、2割負担者が26人も出たり、介護施設入所待機者が多数だったりしている。その上、これから利用者の負担増の話が出てきている。どう対処するのか。

町長 町内の利用者のために、制度や持続可能性の観点で踏まえた議論が行われるよう支援していきたい。

問 今回の網張温泉源泉整備事業補助金返還請求に係る訴訟で、盛岡地方裁判所は町長深谷政光氏に対して上記補助金の一部を返還するよう請求することを勧告する判決を下した。これに対して町長は法解釈及び事実認定に誤りがあるとして仙台高裁に控訴した。どこに法解釈と事実認定に誤りがあるというのか。

町長 これから公判で争う事項で、こちらから今それを言うことはできない。

問 担当弁護士を東京の弁護士に代えたのはなぜか。着手金の入札をやらなかったのか。

町長 一審判決で、いろんな人からの御心配、御助言とか相談もいただき新しい弁護士に頼むことにした。着手金の入札は、やらなかった。



利用者の負担増にならないような改正を

町長／PRパンフレットを作成する

雫石新十四景の周知案内は



町有地14ヶ所、
まず全体像、
示すべき。資金計画を
道路整備は、
それからでも良い。
なぜ急ぐ？

問 葛根田溪流沿いは、景勝地が多い。しかし道路は狭く、急カーブも多くある。紅葉の時期には、交通渋滞を起こしている。アクセス道の改善が必要ではないか。また、滝ノ上地区の振興対策はどうしていくか。

町長 滝ノ上地区は、自然の魅力が詰まった秘境の温泉地である。林野庁東北森林局長に対し、岩手県知事、しずくしい観光協会理事長との連名で「県道の安全確保の要望書」を提出した。振興対策については、国の支援制度の活用を視野に入れながら、景観の保全と景勝地づくりを進める。

問 滝ノ上から、北白沢沿いを通り、県道雫石東八幡平線に通じる林道があるが、改良事業化できないか。

観光商工課長 滝ノ上地区は、1本の道でしか行けない。複数の路線確保に越したことはないので、現地を見ながら県に相談しながら進めたい。



未来に残したい景観、鳥越の滝

寄贈品の公表を

問 町には、多くの美術品等の寄贈品があると思う。リストを作り公表すべきでは。

町長 町の所有施設に展示している。作品リストは、できていて把握している。管理は、各施設で行なっているが、町民へは新たな案内方法を検討する。

■他にこんな質問もしました
・町内農産物の販売対策について

道路整備より、まず開発計画を

問 6,000万円以上の巨費を投じて作った計画が、3ヶ月で変更になり、施設の配置、資金計画が違ってくると思うが。

町長 計画そのものは大きく変わる所はない。資金計画の変更では、林業再生基盤づくり交付金の補助メニューである。木造公共建築物等の整備補助金や地方創生拠点整備交付金の制度活用について検討している。

ダム汚染心配、下水道工事促進を

町長／全力で県に要望



インフラ整備の
遅れは、
人口対策に大きく
影響ありだよ！

問 公共水域の汚染処理対策は、鶯宿幹線下水道や周辺公共下水道などの遅れで河川、ダム湖の水質保全が心配である。工事は、いつ完成するのか。また、環境保全のためダム堆積土砂の採取が始まったが、活用の考えを伺う。

町長 鶯宿川の水質調査は県で毎年実施している、環境基準値を達成しているので汚染の心配はない。鶯宿幹線下水道は、ようやく本年4月戸沢地区の供用が開始された。片子沢処理分区は26年度に工事着手し、30年4月に一部供用開始予定。鶯宿処理分区は、29年事業変更で一部区域を拡大予定しており概ね5年から7年を要する。並行して町の公共下水道を促進するが、県に幹線工事促進要望のため日参を覚悟し努力したい。

地域整備課長 ダム堆砂土採取は、年間5～6,000 m³の計画と聞いている。有効活用を協議し進めたい。

イノシシ等有害鳥獣対策は

問 近年、温暖化なのか野生動物のクマ、イノシシ、シカ、ハクビシン等による被害や学童の登下校時の危機、日常生活の不安がある。被害状況や駆除対策をどうしているか。猟友会の組織支援、新ハンター育成の考えはどうか。

町長 ツキノワグマの出没状況は、4月以降8月20日現在、126件で昨年の約2倍、一昨年よりやや多くなっている。クマによる被害は、トウモロコシ、スイカ、トマト、デントコーンなど22件、被害は昨年の2倍以上。イノシシは19件、主に御所地区に集中しており、農作物被害が大きい。ニホンシカは今のところ被害通報は寄せられていないが生息数は確実に増えていると思われる。カラスの駆除のほか、放流したアユ、ヤマメのカワウによる食害が多発しており、一斉駆除に取り組んでいる。鳥獣被害防止計画の対象鳥獣にイノシシ、ニホンザルを加えた。猟友会の会員は、減少しているため新たにハンター確保対策をしていく。



被害の多い場所に設置したイノシシの捕獲ワナ

随意契約に問題ないか

町長／ガイドラインの見直し等行っていきたい



「14ヘクタール…」と
言うだけで
「小岩井ね」と、こだま
のように返ってくる。
でも「中身はよく分から
ない」と言われ、
説明を求められる？
最近デス。

問 14ヘクタール町有地活用事業について、「合同会社住まい・町づくりデザインワークス」と随意契約した収支計画報告書には、介護事業の収支と内訳の記載がなかった。事業には必須である、サービス付き高齢者住宅事業の資金計画資料の提出がなかったのはなぜか。

町長 サービス付き高齢者向け住宅事業の整備と運営は、全てをまちづくり会社と(株)コミュニティライフしずくいしが実施する方向で進めてきた。資金計画の資料を提出しなかった理由は、施設整備に伴う長期事業収支計画の試算は行ったが、入居者の生活支援サービス費を確定する必要と、調査時点では入居者ニーズを把握できていなかった。利用料も協力機関との連携内容により変動など、不確定要素が多くあり、全ての条件が確定されないと収支計画は作成できない。

問 町道の除雪事業は19年度以降、NPOと随意契約で行っているが、契約と業務内容に大きな開きがあり、不透明に映ると言う声が寄せられている。以前のように町が直営で除雪事業を行った方が事業の透明性が上がるのではないか。

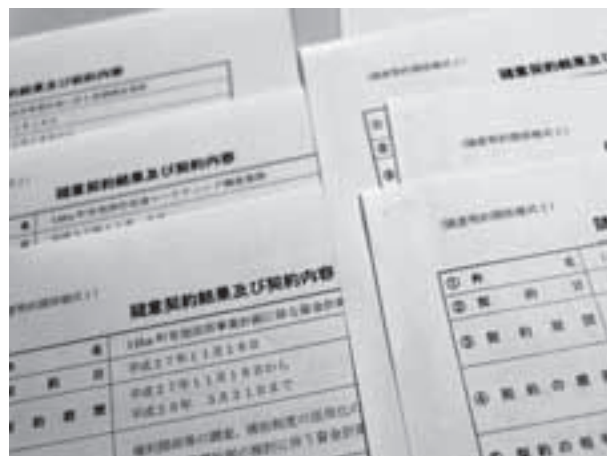
町長 随意契約の内容等については町のホームページで公表しており除雪機械1時間あたりの単価を掲載している。開示請求による積算根拠も示すことができるので不透明さはないと認識している。しかし、人材育成の面で何か支援ができないか検討していきたい。

問 地方公共団体は、安易に随意契約をすることは厳に慎むよう注意されているが、町有地活用事業に、約6,000万円もかけたこの契約には具体的な積算書や見積書がなく、町のガイドラインではチェックも甘く映る。随意契約の妥当性が問われるのではないか。

総務課長 安易な随意契約はしないように進めてきているが、他の議員からも指摘があり、競争入札にするかどうか担当者にも十分留意するよう指導はしている。しかし透明性と説明責任を高めるために見直し等行っていきたい。

他にこんな質問もしました

・生活困窮者支援について



14ヘクタールにかかる随意契約書

町観光交流活性化行動計画の取り組みは

町長／国・県の施策や、関係団体と連携する



観光は地域間の
連携も必要だが、
競争も激しくなっ
てきている。危機感
を持って取り組み
たい。

問 今後、増加が予想される外国人観光客の誘客促進と受け入れ態勢整備の取り組みはどうなっているのか。

町長 本町の観光振興と産業活性化の重要施策ととらえ、積極的な観光情報を発信していくとともに、県や盛岡広域振興局管内市町と連携し、国・県の施策と連動しながら、受け入れ態勢の整備を支援していく。

スポーツ観光等多様なツーリズムを

問 国体開催を契機にスポーツ観光を強力に進めていく考えはないか。また、エコツーリズム等多様なツーリズムへの取り組みはどうなっているか。

町長 (仮称)盛岡広域スポーツツーリズム推進協議会との連携強化により、誘致活動に取り組み、合宿受け入れ拡大を図る。エコツーリズム等は新たな観光として地域活性化に寄与する可能性が高いことから、雫石版 DMO^{*}との取り組みと連動しながら推進していく。

観光人材の育成と観光推進体制整備は

問 多様なツーリズムを推進するためには、観光人材の育成と推進体制整備が必要ではないか。

副町長 ニューツーリズムを前向きに考えていかなければ他地域に観光客が流れていくという危機感を持っている。新たな人材の育成や組織体制については、前向きに取り組んでいく。

町農林業基本計画、施策の取り組みは

問 グリーン・ツーリズムについて、基本計画には新たな受け入れ農家の確保育成が必要とあるが、どのように取り組んでいくのか。

町長 町内農家にグリーン・ツーリズムについて丁寧に説明し、理解を求めながら、雫石町グリーン・ツーリズム推進協議会の受け入れ農家拡大の取り組みを支援していく。

問 受け入れ農家に対する助成・補助制度は考えていないのか。

観光商工課長 受け入れにかかる施設整備等の助成・補助制度については、農家のニーズを再調査しながら進めていく必要があると考えている。



継続した開催が期待されるスポーツイベント

^{*}DMO…自然、食、芸術・芸能、風習など観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人のこと

総務常任委員会

〔杉澤敏明委員長〕

○雫石町地域おこし協力隊

地域おこし協力隊員とは、都市地域から農山村地域に住所を移し、生活拠点を移した者で、取り組み自治体から隊員として委嘱を受けた人です。隊員は一定期間（最長3年）、地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民の生活支援などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を目指す取り組みをします。

当町では、28年度当初予算に9人分の報酬等を計上し、地域おこし協力隊事業（総務省支援事業）に取り組んでいます。

現在、地域づくり活動支援を行う隊員3人、定住移住促進支援を行う隊員2人、農業の魅力発信等を行う隊員1人を採用し、それぞれの任務に沿った活動をしてもらっています。また、地域の行事やイベントなどに参加し、地域に関わりながら当町の情報を発信するなど、まちおこしのための活動に取り組んでいます。

今後も地域づくり活動支援を行う隊員1人、定住移住促進支援を行う隊員1人、観光づくり活動支援を行う隊員1人を採用することとしています。



産業建設常任委員会

〔岩持清美委員長〕

○有害鳥獣被害調査

産業建設常任委員会は、8月末に行われた「町民と議会との懇談会」で指摘されたイノシシ被害について、農家立ち会いのもと9月8日に調査を行いました。御所町場地区では、畑、水田等で作物が掘り起こされ収穫できないことや、畦は踏み荒らされたり、穴が掘られたりし、高さがなくなり水が溜められない状態が見られました。また、水田の中を歩いたり、ぬた場^{あぜ}とされた様子も見られました。町では、イノシシ用のワナの設置は1ヶ所であり、その様子も調査しましたが、もう少し多くの場所への設置が望まれます。

9月定例会では、大型ワナを購入することが補正予算で成立しております。まずは、初期の内に絶滅を目指したいものです。



※ぬた場…イノシシやシカなどの動物が、体に付いているダニなどの寄生虫や汚れを落とすために泥を浴びる場所

教育民生常任委員会

〔山崎留美子委員長〕

○県より高い水準の一人当たり国保医療費

27年度町民一人当たりの国保医療費は38万2,846円、県内で4番目に高い額。その理由の一つに、手術を含めた高額医療（最高はひと月500万円ほどが5名）を受けている方も少なくないことなどがあげられています。

○町内施設へ5名の方が転入

台風10号で被災された沿岸被災地支援に、ボランティアバスが運行され、宮古市新里暮目地区にすでに派遣されていることや、「介護老人保健施設は一とぼーと雫石」に5名の方が移ったことなどが報告されました。

○介護要支援1、2が29年4月から移行

介護保険の介護要支援1、2の方のサービス利用が、1回あたりの単価設定となることや、家族や本人申請、

またケアマネの判断等で、いつでも見直しが可能になることが説明されました。

また、学校教育課からは、中学校のスーパーエコスクール改修工事の進展状況や小学校統合について説明があり、今後現地視察を予定しています。

○請願について

第1号「義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2017年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願」

第2号「教職員定数改善をはかるための2017年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願」

第3号「私学教育を充実・発展させるための請願」

上記3件の請願は、いずれも採択となりました。

町民と議会との懇談会を開催 延べ 49 人の参加者と懇談



雫石町議会では、町政に関する情報提供と皆様のご意見やご要望を広くお聴きするため「町民と議会との懇談会」を8月22、23、25、29日の4日間8会場（昨年は6会場）で開催しました。延べ49人の方々に参加いただきました。小学校統廃合や14ヘクタール町有地利活用問題等さまざまな質問、意見、要望が出されました。その概要をお知らせします。

1. 開催日時・開催場所・参加者数

開催日	時 間	開催場所	参加者数
8月22日(月)	19：00～ 21：00	(1)中町一公民館	2名
		(2)七区自治会館	3名
8月23日(火)	19：00～ 21：00	(3)元御所公民館	6名
		(4)葛根田公民館	9名
8月25日(木)	19：00～ 21：00	(5)戸沢公民館	6名
		(6)横欠公民館	13名
8月29日(月)	19：00～ 21：00	(7)鶯宿集会所	5名
		(8)南公民館	5名
		合 計	49名

(参考：平成27年度参加者数 53人)

2. 出席議員

開催場所	正副議長	議 員
中町一公民館	前田議長	岩持清美、川口一男、 石亀 貢、上野三四二
葛根田公民館	加藤副議長	
戸沢公民館	前田議長	
七区自治会館	加藤副議長	横手寿明、山崎留美子、 西田征洋、村田厚生、 坂下栄一
横欠公民館	加藤副議長	
鶯宿集会所	前田議長	
元御所公民館	前田議長	堂前義信、杉澤敏明、 谷地善和、大村昭東
南公民館	加藤副議長	

※山崎芳邦議員は病気休暇のため欠席

3. 主な質問・意見・要望等（抜粋）

(1) 中町一公民館

●しずく館は新しい管理者になっても賑わいがいい。以前は重って祭りやどぶろく祭りで賑わっていた。

【出席議員】自主事業として「歌声喫茶」は継続し、新しい事業も行っていくと聞いている。もう少し見守っていききたい。

●商工会は、よしゃれ祭の日程等を決める際、もっと広く町民の意見を聞いて欲しい。

【出席議員】商店街との関わりが薄くなっていると感じるところもある。よしゃれ祭の実行委員に議員も入っているの、広く町民の声を反映できるよう働きかけていく。

●町では、ドイツ、アメリカに中学生を派遣している。各小学校5年生以上の数名を8月6日の原爆慰霊祭に派遣してはどうか。平和教育の一環になり、広島県の小学校との交流にも繋がる。

【出席議員】教育民生常任委員会で取り上げて検討する。

(2) 七区自治会館

●町有地14ヘクタール利活用の町民への説明はいつするのか。

【出席議員】未定である。町当局に確認する。

●雫石14景は、公募したのに得票結果等の経過が公表されてない。応募者に失礼であり、公表するべきではないか。

【出席議員】同感であり、町当局に問い合わせる。

(3) 元御所公民館

●元御所から繋活動センターへの道路は除雪対象外となっている。26年に陳情したが除雪してくれない。

【出席議員】町当局に確認する。

(4) 葛根田公民館

●町なかの賑わいも、軽トラ市のみ。暑い時期は夕市や夜市にすれば良いのでは。

【出席議員】加工品や鮮魚類は暑い時期は出せないの、良い提案である。担当課に意見を伝えていく。

(5) 戸沢公民館

●農業公社の発想があるようだが、冬はどうするのか。公社維持と年間雇用できるかが課題では。

【出席議員】5年後、農業リタイヤ組が増えてくることなどへの対策の一環と言える。今後の検討課題と捉えている。

●町場、九十九沢等イノシシ、熊の被害が多発している。早めに手を打たないと大変なことになる。

【出席議員】産業建設常任委員会も大きな問題であると認識している。町当局と一緒に対策を考えていきたい。

(6) 横欠公民館

●スーパーエコスクールはどこまで進んでいるのか。

【出席議員】工事は順調とのこと。武道館は柔道などが授業の必須科目になったことから整備している。

●息子が就農して4年目。面積を増やそうとして県に補助金申請をしたいが、10年後の見込み等計画を聞かれても分からない。町で補助してもらえないか。

【出席議員】10年後の見込みも必要なことと言える。新規就農に町や農協は応援体制を取っているの、相談して欲しい。

(7) 鶯宿集会所

●盛岡市は繋温泉観光協会に入湯税を還元していると聞いた。町も観光に使えるような助成制度があれば良いのでは。

【出席議員】入湯税の使途については調書が出るので議会でも議論になっている。鶯宿温泉の振興と合わせて、取り組んで行きたい。

●鶯宿からの二次交通がない。二次交通がないとますます観光客が落ち込む。

【出席議員】観光の町と言っているが交通の足がないのは観光客には大変なこと。デマンドタクシーで観光地を繋ぐ路線も考えるなど、当局と検討していく。

(8) 南公民館

●昇瀬橋はいつ頃から工事するのか。

【出席議員】県代行にしてもらいたいと働きかけているが、国道の取り付け道路等で時間がかかっている。確認する。

●町歴史資料館から山津田に抜ける道路は通行量が多く、狭くて危険である。生活道路の整備を優先して欲しい。

【出席議員】町当局に約80件を超える生活道路整備の要望があり、議会としてその内容と優先順位等の一覧を公表するよう求めている。再確認する。

※「町民と議会との懇談会」の会議録は、町当局に確認中のものもありますので、回答を得たい雫石町議会のホームページに掲載いたします。



議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



しゃっかべ じゅんや
砂壁 純也さん
(47歳・土橋行政区)



さくらだ しんいち
櫻田 真一さん
(46歳・葛根田行政区)



たかはし か な
高橋 佳奈さん
(38歳・天戸行政区)

雫石産の酒づくり

この春から、仲間とプロジェクトを立上げ酒米栽培を行っています。栽培した酒米は県内2つの酒蔵に製品として出荷することと併せ、四合瓶に換算して約3,000本がプライベートブランドとして会員向け販売と道の駅で地酒として販売します。

酒米栽培はキッカケであり、雫石を訪れる宿泊者にストーリー性ある雫石の美味しいお米や野菜を食べてもらい、それを再生産可能な価格で買うことで農業が産業として保たれ美しい農村風景が維持され、それを求めて観光客がやってくるという【持続性あるサイクル】になるのではないかと考えていますし、それが本来のブランドに繋がると考えています。

雫石の地理的条件や美しい景観や豊富な温泉などを単なる【自然資源】だけではなく【資本】と捉えれば、道の駅や観光施設の更なる賑わいや、深刻な人口減少による廃校活用なども実は効果的な活用に転換できるのではないかと考えています。

いよいよ初の収穫が始まり、全国に向けて雫石の地酒が発送されます。

町の気候や地勢、個性を感じられるテロワール*的な産物に育って欲しいと考えています。

※テロワール…育地の地理、地勢、気候による特徴をさすフランス語である。作物における生育環境を生かすの意

活気のある 地域づくりのために

昭和57年度より少年消防クラブが結成されて以来、現在までさまざまな防火・防災活動に積極的に取り組んできた行政区です。平成元年からは、雫石町ラッパ隊と合同で消防演習に、ラッパ吹奏訓練の披露や防火・防災活動の長年の成果が認められ、平成26年度は特に優良な少年消防クラブとして、総務大臣賞を受賞することが出来ました。今後も少年消防クラブの活動を継続していく、災害の無いまちづくりに協力していきたいと思っています。

私は、昨年まで小学校のPTA会長を務めていました。その関係で小学校の統合準備委員会の委員にもなっています。これからの雫石町を担う子どもたちのより良い教育環境整備のために、地域・住民・行政等と連携を取りながら、慎重に進めて行きたいと思っています。

小学校の統合に について思う事

私は、今年度安庭小学校のPTA会長を務めさせていただいています。息子が3年生です。29年度より、安庭・南畑・大村の3つの小学校が統合する運びとなりました。統合の話が出てからさまざまな意見があり、決定に至るまで時間を費やし、準備期間が限られたものとなりました。その限られた準備期間の中で多くの課題があり、何かと不安な面もあるかと思います。とはいえ、これから入学する子どもたちの未来のため、皆様にご協力いただきながら統合に向けて進めていくことが大切だと思います。

町内、どの地区でもそうだと思いますが、各校それぞれの特性を活かした活動や、地域の方々との交流を通じ、自分たちが住んでいる土地の素晴らしさを日々感じながら過ごしてきたと思います。3校が一つになりますが、これまでのそれぞれの歴史、思い出、母校への思いを忘れず大切に、より素晴らしい新しい小学校となる事を期待しています。

故郷雫石と家族はかけがえのない宝物



ふるさとへの便り— 65

きたばやし たえ こ
在京雫石町友会 会員 **北林 妙子**さん

私の旧姓は築場といいます。実家は長根にあり、屋号は与右工門です。

実家は代々続く農家であり、私は2男5女の7人兄弟の末っ子として生まれました。

末っ子ということで、両親はもとより、兄や姉たちにも可愛がってもらい、とても良くしてもらった思い出がたくさんあります。特に兄（武夫）には、高校の部活動で帰りが遅くなると、忙しい農作業の合間を縫って、毎日駅まで迎えにきてもらっていました。

高校は盛岡まで電車で通っており、部活動を終えて家に帰るとすでに夜8時・9時でした。駅から家までの道程は遠く、辺りは真っ暗。特に冬の寒さは厳しかったので、迎えにきてくれる兄の存在は本当に嬉しかったものです。おかげで高校在学中は精一杯部活動に励むことができました。高校卒業後は茨城県にある日立製作所多賀工場へ就職が決まり、同社卓球部に所属して実業団で頑張っていました。その頃、同じ会社の陸上部の先輩で、

走り高跳びで活躍していた主人と出会い、結婚しました。高校時代に兄の迎えがなかったら卓球を続けることが難しかったと思うと、主人と出会う機会もなかったと思います。兄には本当に感謝しています。

結婚を機に会社を退職しましたが、ライフワークとも言える卓球は今も続けています。日々の練習の他にも、試合に出場したり、茨城県卓球連盟の仕事や、子どもたち・家庭婦人の方々への指導も行っており、多忙な毎日ですが、これからも頑張っていくつもりです。

時折、雫石へは家族とともに帰省しています。実家の両親はすでに亡くなりましたが、兄夫婦が守ってくれており、いつでも私たち家族を気持ちよく、温かく迎えてくれます。私にとっては兄夫婦の存在自体が、「故郷雫石」の姿であるかのように感じられます。そんな「故郷雫石」と家族は、私にとってかけがえのない宝物です。



雫石の実家にて、兄夫婦と孫と



平成 27 年全国レディース卓球大会にて

昭和 27 年 5 月 3 日生まれ。雫石小学校、雫石中学校、盛岡白百合学園高校卒。日立製作所多賀工場に就職。卓球部に所属し実業団で活躍。結婚を機に同社退職。現在も卓球を続けており、茨城県卓球連盟常任理事・茨城県レディース副部長を務める。家族はマスター陸上で頑張っている主人と嫁に行った娘 2 人。孫は 4 人。猫を飼っている。北茨城市在住。

栗石町へようこそ

お嫁さん

お婿さん

ご縁があり、町外から迎えられた
「お嫁さん」



左 夫の宏典（ひろのり）さん
中央 チョコえもん
右 美幸（みゆき）さん
（宮城県での音楽フェスにて）

たかはし みゆき
高橋 美幸さん（34歳 一戸町出身）
（旧姓：柴田、駅前行政区在住）

Q- お二人の馴れ初めは？

- 共通の友人を通じて知り合いました。

Q- 栗石町に暮らしてみて、いかがですか？

- 自然が豊かで、スポーツ活動も盛んで、子どもの成長には最適な環境だと思います。

Q- 町に望むことは？

- 自然の中で、子どもと一緒に楽しめる音楽フェスや農場キャンプを催して、町を盛り上げて欲しいです。

今日の表紙

空手道連盟 「練武会」

代表：阿部一雄さん



指導者の関口監督（盛岡市）と
岩手県本部長も務める阿部師範（右）

毎週月・木曜日に町勤労青少年ホームで練習を行っている。代表の阿部師範は、“仲間づくりと礼儀作法を身につけてほしい”と40年以上指導を続けている。練習生の西野君は、「父も習った、父に進められ習い始めた。」と話してくれた。親子二代にわたり指導を受けた町民も多い。

現在会員は7名。入会等のお問い合わせは、町体育協会スポーツ少年団担当（☎019-692-1644）まで。

情報公開

【議長交際費内訳（7月～9月）】

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

月	葬祭費	お祝い、会費
7月	1件 20,000円	8件 35,500円
8月	0件 0円	4件 20,000円
9月	0件 0円	3件 12,000円
小計	1件 20,000円	15件 67,500円

※議会の動きは紙面の都合上、掲載できませんでした。
詳しくは、HPに掲載しております。

■編集デスク

今回から、誰が質問したのか分かるよう質問者の氏名を表示しました。また、常任委員会の報告も少しずつ変えています、いかがだったでしょうか。身近な広報紙となるよう努力しております。尚、11月に議会だよりに対するアンケート用紙をお配りする予定です。気づいた点、感想など多数のご回答をお待ちしております。

（編集委員 岩持清美）